

## 1 フォローアップの必要性

- 本報告書は、電気通信事故の再発防止に寄与することを目的に、**検証結果が多くの上業者の今後の取組にも反映されることを期待**して作成したもの。
- 本報告書の検証結果が、事故の再発防止の観点から効果的であるのか、どの程度実現性があるのか、不足する観点等は無いか、等々を**フォローアップすることで、業界全体の電気通信ネットワークの安全・信頼性の更なる向上に資する**といえる。

## 2 フォローアップの実施方法

- 各教訓における**アンケートを実施**(今年度末を予定)。
- 各種説明会において、多くの事業者との話し合いの場を設け、**ヒアリングを実施**。

## 3 フォローアップ結果の活用

- アンケート結果は、統計データ(個社名は非公開)として集計・分析することにより、**業界全体の相場観を把握**。
- 分析結果を次年度の検証報告書に掲載し、当該報告書において分析結果に基づく**新たな教訓等を記載**。
- 分析結果や事業者ヒアリングにより、特に有効と認められる教訓については、ベストプラクティスとして業界全体に共有すべく、**ガイドライン等に適切な措置例として記載**。
- **情報通信ネットワーク安全・信頼性基準**等のガイドラインの見直しの検討。

# 「平成27年度電気通信事故に関する検証報告」のフォローアップについて

## ○想定するアンケートのイメージ

※ 基本的に、選択肢形式を想定。

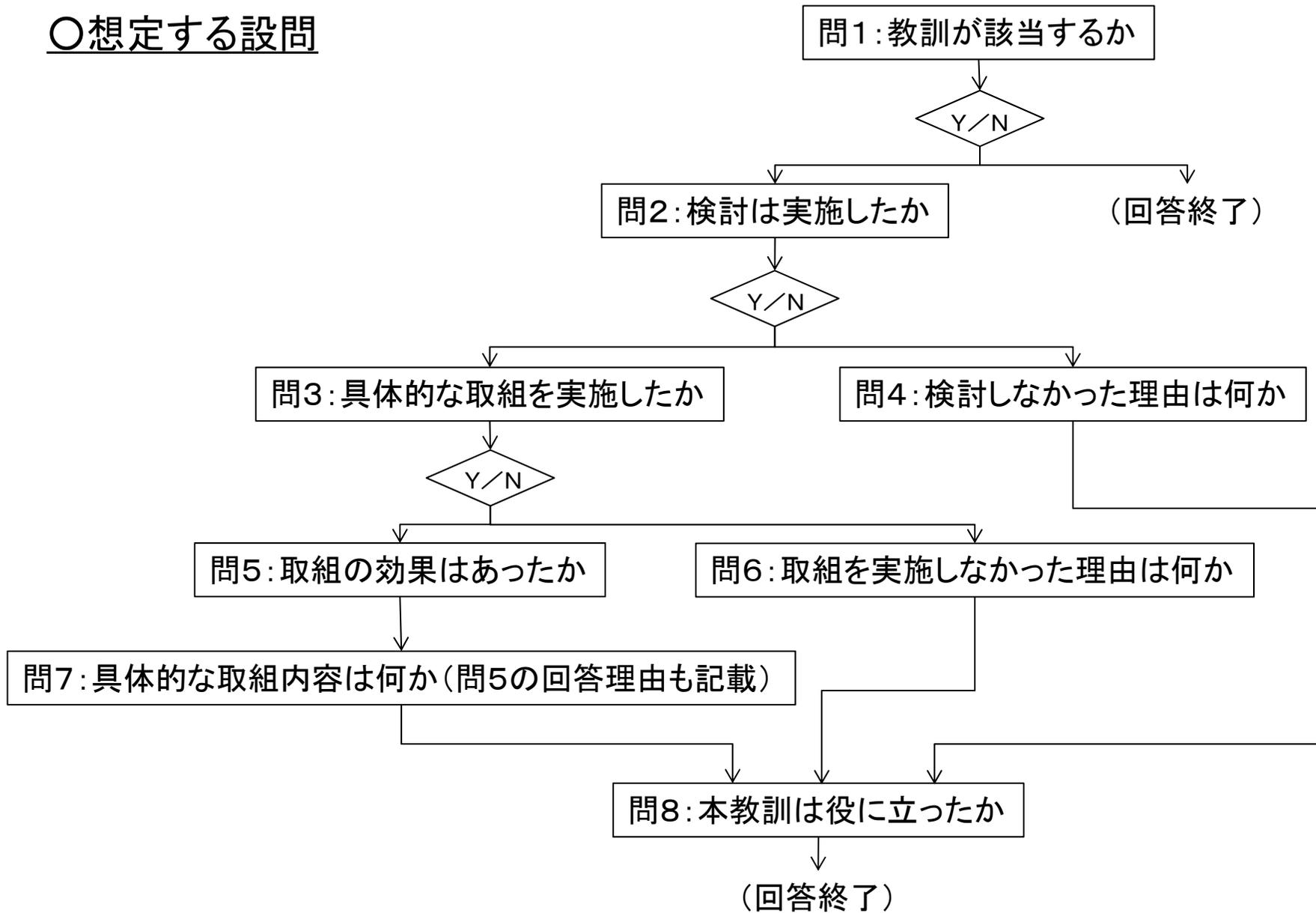
報告書の記載事項	教訓	問1. 教訓は該当するか	問2. 取組は実施したか	問3. 取組は効果的であったか	問 ...
①適切な設備量とバックアップ	1. トラフィック推移を適切に監視する	<input checked="" type="checkbox"/> 1: 該当する。 <input type="checkbox"/> 2: 該当しない。	<input checked="" type="checkbox"/> 1: 実施した <input type="checkbox"/> 2: 実施しなかった	<input checked="" type="checkbox"/> 1: 十分な効果があった <input type="checkbox"/> 2: 一定の効果があった。 <input type="checkbox"/> 3: 効果がみられなかった。 <input type="checkbox"/> 4: 効果があるのか現時点では分からなかった。	...
	2. 外部委託する場合は、適切な連携が必要	<input type="checkbox"/> 1: 該当する。 <input checked="" type="checkbox"/> 2: 該当しない。	<input type="checkbox"/> 1: 実施した <input checked="" type="checkbox"/> 2: 実施しなかった	<input type="checkbox"/> 1: 十分な効果があった <input type="checkbox"/> 2: 一定の効果があった。 <input type="checkbox"/> 3: 効果がみられなかった。 <input type="checkbox"/> 4: 効果があるのか現時点では分からなかった。	...
	3. 障害が発生しても、速やかにデータ復旧できるようバックアップを採ること。	<input checked="" type="checkbox"/> 1: 該当する。 <input type="checkbox"/> 2: 該当しない。	<input checked="" type="checkbox"/> 1: 実施した <input type="checkbox"/> 2: 実施しなかった	<input type="checkbox"/> 1: 十分な効果があった <input type="checkbox"/> 2: 一定の効果があった。 <input type="checkbox"/> 3: 効果がみられなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 4: 効果があるのか現時点では分からなかった。	...
②冗長構成の機能確保と試験	1. ...	...	...	...	...
	2. ...	...	...	...	...
	3. ...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...

合計8つの問いを想定

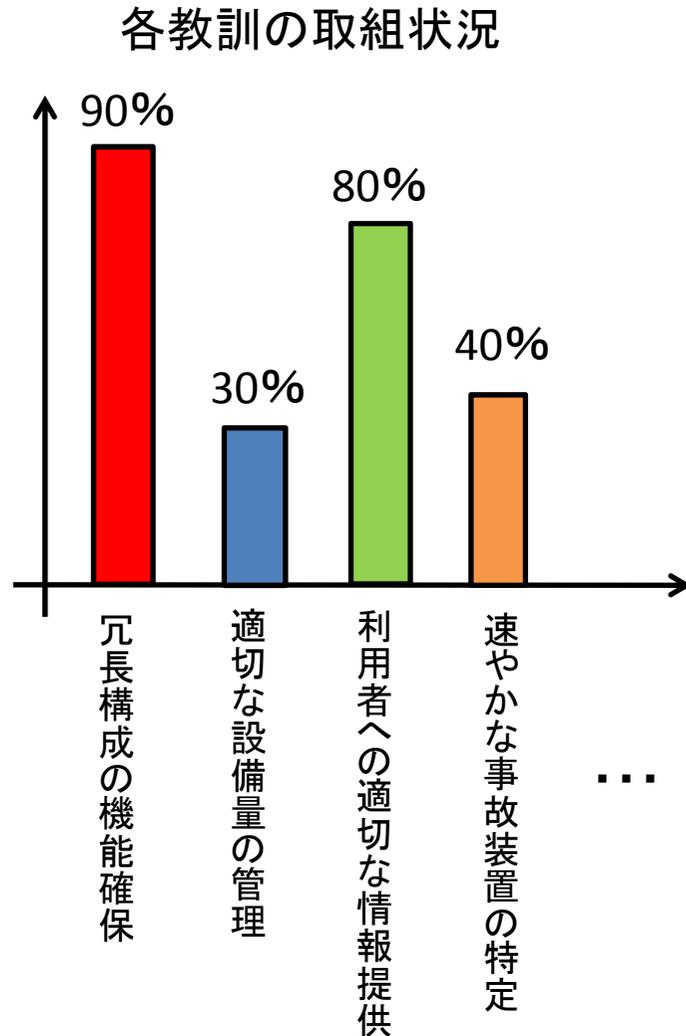
合計27項目を想定

# 「平成27年度電気通信事故に関する検証報告」のフォローアップについて

## ○想定する設問



## ○想定する分析のイメージ



### <評価できる点>

- 冗長構成が正確に機能することを各社とも、平時から確実に担保している。
- 各社とも、利用者への情報周知を徹底しており、利用者への混乱を最小限化する取組を徹底している。

### <課題>

- 急速に発展する情報通信技術に対応するために、設備の増改築を繰り返した結果、利用者の需要にあった適切な設備量の監視や、障害発生時の事故装置の特定に、課題が存在する。